

日刊 [華鐘通信]

2020年11月25日(水)
第4873号

発行：華鐘コンサルタントグループ
ニュース提供：時事通信社

DAILY HUAZHONG NEWS

★華鐘グループのお知らせ

■2020年華鐘グループ秋季中国セミナー(オンラインセミナー)を開催..... 2

★中国ビジネス相談Q&A

■2020年12月の上海市における展示会情報(2)..... 3
＜上海市＞＜展示会＞

★本日のニュース

【経済】

■主要100都市の分譲住宅在庫、5億平方メートル突破＝10月末時点..... 5

■デジタル社会保障カード、3億人が利用..... 5

【金融】

■金融当局、華晨汽車を調査＝情報開示規制違反の疑い..... 5

【政策】

■ライブ配信の管理強化＝「投げ銭」に実名制、未成年は不可..... 6

【産業】

■ファーウェイ、大連にインダストリアルインターネット開設..... 6

■広匯汽車、EV充電施設でBMWと提携＝上海市..... 7

■一汽VW、新型SUVを22年発売へ..... 7

■海星電子、アルミ箔増産へ＝新株で資金調達－江蘇省..... 7

■双塔食品、代替肉原料の新製品を発売＝山東省..... 7

【社会】

■浦東空港のコロナ発症者、ULD清掃で感染か＝発着便が激減－上海市..... 8

■内モンゴルでもコロナ感染2人＝満州里で全住民PCR検査..... 8

為替レート(24日、中間値)

通貨	前日比増減
1人民元＝ 0.15195米ドル	0.00015
1.17793 HKドル	-0.00170
15.88108 日本円	0.08055
0.12833 ユーロ	0.00006

株価指数(24日終値) 値指数

上海総合株価指数	3402.82
前日比(ポイント)	-11.67
前日比(%)	-0.34
取引額(万元)	35,950,600.00
前日比(万元)	-7,199,800.00

★ 華鐘グループのお知らせ

■ 2020年華鐘グループ秋季中国セミナー(オンラインセミナー)を開催

今年で16年目を迎え、第29回となる華鐘コンサルタントグループ秋季中国セミナーは、引き続きZoomウェビナーを用いた「オンラインネットセミナー」として開催させて頂きました。幅広い業種の日系企業、経済団体より約1,400名のお申し込みを頂き、当日の視聴者数はピーク時で840名となり、このうち、6割の方が日本でご視聴頂いたという結果となりました。

冒頭では、共催者である上海市外国投資促進中心の薛鋒主任と、在上海日本国総領事館の和仁一紘領事にご挨拶を頂きました。薛主任は「今年の1～10月の日本の対上海投資は前年同期比8.6%増の6.45億米ドルとなり、上海市の平均水準を上回っている」と指摘、「今後も上海市外国投資促進センター大阪事務所や華鐘コンサルタントなどの中国・海外機関とともに外資の上海への投資を支援し、商機を捉えて上海市を助けていく」と述べられました。和仁領事は「新型コロナウイルスの影響で、日中両国間の人的な往来はなお制約があるものの、経済交流はたゆまず続けられており、ポストコロナ、Withコロナという新たな状況のもと、日中新時代に向けて両国が一層の協力を進めていけることを確信させるものだと感じている」との見方を示されました。

講演パートでは、上海市外国投資促進中心アジア・アフリカ部の劉剛副部長が、上海市のサービス業、地域本部などの外資導入実績について、グラフなどを使いながら、多くの日本の著名な小売企業・飲食企業の2020年における上海市での新たな事業展開や、外資企業の上海市『朝食プロジェクト』に対する新展開のサポートにつき日本語で紹介。このほど新たに公布された「上海市外商投資条例」(中国語：[「上海市外商投資条例」](#))や2020年11月公布の「一網通弁」国際版



(中国語：[「一網通弁」国際版](#))について定期的に開催している外資企業円卓会議など、上海企業誘致に向けた特徴あるツールについて詳細を説明されました。

続いて、古林恒雄董事長が「新型コロナウイルス克服後の中国経済と世界経済における立ち位置」として、新型コロナウイルス感染拡大を受けた直近の話題や、世界の経済状況をデータで示しながら分析しました。能瀬徹総経理は、中国の最新の産業政策や、企業買収・資本参加のデメリットとリスク回避策などを解説。古林将一総経理は、2020年5Gの今、自動運転やAIの現状、中国デジタル経済、ポストコロナの中国消費市場などについて講演しました。

本セミナーは、当日参加できなかったお客様に対して、華鐘コンサルタントのホームページ上で、セミナー資料のダウンロードと当日のセミナー録画をフルにご視聴頂ける URL を準備いたしました。以下の通りご連絡致しますので、ぜひご利用ください。宜しくお願い致します。

→ <https://www.shcs.com.cn/zl/201120.html>

(記：公開部 兪穎春)

★ 中国ビジネス相談Q & A

■ 2020年12月の上海市における展示会情報 (2)

Q:2020年12月の上海市における展示会情報を教えてください。

<上海市><展示会>

A:12月の展示会のスケジュール及び詳しい情報は以下の通りです。

上海市において2020年12月に開催される展示会情報を以下の通りまとめましたので、お知らせ致します。参加を希望される場合は、下記連絡先へ直接お問い合わせ下さい。

「2020年12月の上海市における展示会情報(1)」より続く

開催期間	展示会名
9日-11日	第8回上海蒸発及び結晶技術設備展示会 http://www.shecexpo.com/ 開催場所: 上海新国際博覧中心 連絡先: TEL: 021-337932238
9日-11日	2020年上海国際特殊車両展示会 http://www.spvechina.com/ 開催場所: 上海新国際博覧中心 連絡先: TEL: 021-51388559
10日-12日	2020年(上海)第31回国際フランチャイズ展示会 http://www.shqszh.com/ 開催場所: 上海新国際博覧中心 連絡先: TEL: 021-34970601
10日-12日	2020年(上海)第5回国際教育機関ブランド加盟展示会 http://www.yytzhan.com/ 開催場所: 上海新国際博覧中心 連絡先: TEL: 021-34970601
10日-12日	2020年(上海)第17回国際海外不動産・移民・留学展示会 http://www.shangpuzhan.com/ 開催場所: 上海新国際博覧中心 連絡先: TEL: 021-34970601
12日-13日	2020年上海エンジョイライフ展 http://www.sh-enjoylife.com/ 開催場所: 上海世博展覧館 連絡先: TEL: 021-34783929
16日-18日	第20回世界製薬原料中国展 サブ展示テーマ「2020年世界天然抽出物中国展、2020年世界医薬品合同カスタマイズサービス中国展」 https://www.cphi-china.cn/ 開催場所: 上海新国際博覧中心 連絡先: TEL: 021-33392250

16日-18日	2020年上海国際商業総合体産業展示会 (SRIE2020) http://www.srie-expo.com/ 開催場所: 上海世博展覽館	連絡先: TEL: 021-61800875
18日-20日	2020年中国華夏家具・内装博覧会 http://www.51jiabo.com/sh 開催場所: 上海世博展覽館	連絡先: TEL: 400-6188-555
18日-20日	天猫潮 LIVE 2020 Sneaker Con スニーカー展 (上海ステーション) https://sneakercon.com/ 開催場所: 上海世博展覽館	連絡先: TEL: 021-20893600
22日-24日	2020年上海国際スマートホーム展示会 http://www.smarthomeexpo.com.cn/ 2020年上海国際スマートロック展示会 http://www.lockexpo.cn/ 開催場所: 上海新国際博覧中心	連絡先: TEL: 021-31211868
22日-24日	2020年上海国際IoT展示会 http://www.cardexpo.cn/ 2020年上海国際人工知能展示会 http://www.ai-expo.com.cn/ 開催場所: 上海新国際博覧中心	連絡先: TEL: 021-31211868
22日-24日	2020年上海国際冷蔵庫、空調、暖房展示会 http://www.crh-expo.com/ 開催場所: 上海新国際博覧中心	連絡先: TEL: 021-59792026
25日-26日	2020年中国 (上海) 食品・飲料電子商取引展示会 http://www.zgtgz.com/ 開催場所: 上海世博展覽館	連絡先: TEL: 010-59798028
26日-28日	2020年上海コーヒー・ティー展示会 (CAFEEX) http://www.cafeex.com.cn/ 2020年上海チョコレート展示会 (CHOCEX) http://www.choceex.com.cn/ 開催場所: 上海新国際博覧中心	連絡先: TEL: 021-61621022

(作成: 公関部 孫静)

★ **本日のニュース**

【経済】

■ **主要100都市の分譲住宅在庫、5億平方メートル突破＝10月末時点**

中国ニュースサイト、中国新聞網が23日伝えたところによると、中国の不動産情報会社、易居房地產研究院がこのほどまとめた10月末時点の中国主要100都市の分譲住宅在庫面積は5億0233万平方メートルと、前年同期比8.1%増加した。同社幹部は「ここ4カ月間、成約件数も減少傾向が続いている」と語った。資産バブルを懸念する中央当局が住宅ローン規制といった不動産市場の引き締めにしたことが、市場心理を冷やしたとみられる。

このうち上海、北京、広東省の広州・深センの4大都市の在庫面積は12.7%増の3,043平方メートル、浙江省の杭州・寧波、江蘇省の南京・蘇州、四川省成都など中核都市は12.6%増の2億6,376万平方メートルと、著しい伸びを示した。雲南省桂林や湖北省宜昌、浙江省金華、河南省洛陽などの一般都市は2.4%増の2万0,814平方メートル。

土地売却収入は地方政府の財源の重要な柱となっており、新型コロナウイルス流行の影響で財源が枯渇した一部の地方都市は、物件の購入規制緩和策を打ち出している。黒竜江省ハルビンや内モンゴル自治区包頭、福建省※（サンズイに章）州は、値引き販売を容認するなど不動産市場の活性化策を導入している。（上海時事）

■ **デジタル社会保障カード、3億人が利用**

23日付の中国紙・法治日報（8面）によると、中国人民資源社会保障省は、健康保険証機能などを持つ電子社会保障カードを申請・受領した人が20日にまでに3億人を超えたことを明らかにした。支付宝（アリペイ）や微信支付（ウィーチャットペイ）などスマートフォン用アプリを通じて利用可能で、同省は機能を拡大し行政のデジタル化を推進する方針だ。

電子社会保障カードは2018年4月に発行を開始。診療予約や支払い、養老年金の計算、失業保険申請など利用可能なサービスを次々に増やしている。（北京時事）

【金融】

■ **金融当局、華晨汽車を調査＝情報開示規制違反の疑い**

中国ニュースサイト、東方財富網が23日までに伝えたところによると、中国証券監督管理委員会はこのほど、国有の有力自動車メーカー、華晨汽車（遼寧省瀋陽市）に対し、投資家を保護するために設けられた会社情報開示制度に違反した疑いで調査に乗り出した。同社は先月23日、額面10億元の私募債「17華汽05」のデフォルト（債務不履行）に陥った。瀋陽市の裁判所は1カ月弱が経過した今月20日、債権者による会社再生手続きの申し立てを受理することを決めた。

6月末時点の同社の債務総額は1,328億4,000万元、資産負債比率は71.4%、現金など流動資

産は327億元。

同社は今年6月と9月の2回、主要資産で自動車金融や風力発電、不動産開発を手掛ける「申華控股」や、ドイツのBMWと合弁事業を展開する「華晨中国」の保有株式を孫会社に譲渡。この孫会社は今年6日、華晨中国の株式を担保に資金を調達した。華晨汽車には資産を流出させ、債務返済義務から逃れようとした疑惑が浮上している。

華晨汽車の前身は1958年に設立された瀋陽汽車製造廠。経営危機に直面した91年、上海の実業家、仰融氏から1,200万ドルを受け入れて民営企業として再建を進め、翌92年、中国企業として初めて米国市場に上場を果たした。

最盛期の2000年には新車販売額が70億元まで成長。純利益は独フォルクスワーゲン（VW）の中国合弁2社、上汽大衆（上汽VW）と一汽大衆（一汽VW）に迫った。

ただ、仰氏は2001年から経営方針をめぐって当時の遼寧省長、薄熙来氏と関係が悪化。02年6月、駐中国米国大使の支援で米国に脱出した。05年には遼寧省直轄の国有企業になった。現在は省国有資本管理委員会が80%、省社会保障基金委員会が20%を出資している。（上海時事）

【政策】

■ ライブ配信の管理強化＝「投げ銭」に実名制、未成年は不可

中国国家ラジオテレビ総局は23日、インターネットを通じたライブ配信に対する管理を強化する通知を発表した。「低俗化や拝金主義など良くない風潮がまん延し、社会主義の核心的価値観に衝撃を与えることを防ぐ」ことを目的に掲げている。

通知は、ライブ配信を手掛ける業者全てに今月末までに当局の管理システムに登録するよう要求。さらに配信チャンネルを「音楽」「ダンス」「旅行」「グルメ」などジャンルごとに分類し、管理を強化するよう求めた。

また、称賛や応援の意味を込めて視聴者が配信者に寄付する「投げ銭」に実名登録制を導入し、未成年の利用を禁じた。運営業者には毎月の限度額を設定し、限度額の半分に達したら視聴者に注意喚起することも求めた。

一方、ライブ配信とネット通販を組み合わせた「ライブコマース」についても規定。大規模セールなどイベント開催時にはゲストや司会者、内容などの情報を14日前に当局に届け出るよう求めている。（北京時事）

【産業】

■ ファーウェイ、大連にインダストリアルインターネット開設

中国通信設備・機器大手の華為技術（ファーウェイ、広東省深セン市）は22日、遼寧省大連市甘井子区で製造業にITを応用するための「インダストリアルインターネット・イノベーションセンター」を開業し、区内の設備製造や食品加工、化学などの企業計35社に専用プラットフォームを通じたサービスを始めた。大連晩報が22日伝えた。

同センターは今後、大連市を拠点に遼寧省と中国東北地区全体を対象にインダストリアルインターネット関連のサービスを提供する。

ファーウェイは今年3月、甘井子区政府と同センターの設立で合意。ファーウェイが持つクラウド・コンピューティング、ビッグデータ、次世代通信規格5G、人工知能（AI）などの技術を用い、企業のイ

ノバージョンを後押しする。(時事)

■ 広匯汽車、EV充電施設でBMWと提携＝上海市

中国ニュースサイト、界面新聞によると、上海証券取引所上場の自動車販売大手、広匯汽車服務集団(上海市)は23日、電気自動車(EV)向けの充電事業で自動車大手BMWと提携関係を拡大する方針を明らかにした。

広匯汽車は傘下の国網広匯を通じ、中国全土にあるBMW系自動車販売の4S店(新車展示・販売、部品供給、アフターサービス、情報提供の4機能を持つ店)に一体型充電・太陽光発電・エネルギー貯蔵施設を建設する。

これら4S店の敷地内に充電スタンドを新設するほか、屋上などにソーラーパネルや電力貯蔵装置を設置し、電力の有効利用を目指す。

国網広匯は2019年、送電最大手の国家电网と共同設立したばかりだが、業績好調などにより、20年1～6月期は既に黒字を確保したという。(上海時事)。

■ 一汽VW、新型SUVを22年発売へ

中国国有自動車メーカー、中国第一汽車集団と独フォルクスワーゲン(VW)の合弁自動車メーカー、一汽大衆(VW、吉林省長春市)の販売部門の責任者、オラフ・グトブスキ氏は、広州モーターショーで、新モデルのスポーツタイプ多目的車(SUV)の「B main SUV」を2022年に発売する見通しを明らかにした。盖世汽車が23日伝えた。

グトブスキ氏によると、「B main SUV」は近く長春工場で生産を始める。VWの中型SUV「タイロン」の大型版となり、欧州市場でも販売される。欧州の7席のSUV市場が攻略対象となる。

一汽VWは、SUVのラインアップを拡大しており、「SMVコンセプト」の量産モデルを21年に発売する。その後、「B main SUV」を売り出す計画だ。(時事)

■ 海星電子、アルミ箔増産へ＝新株で資金調達－江蘇省

21日付の中国紙、中国証券報(B40面)によると、上海証券取引所上場の電子デバイスメーカー、南通海星電子(江蘇省南通市)は20日開いた取締役会で、機関投資家などを対象に新株を発行する方針を固めた。

同社はアルミニウム電解コンデンサー用アルミ箔(はく)で国内大手。今回は約7億6,000万元を調達し、次世代の高性能中・高圧エッチングアルミ箔や高強度・高延性エッチングアルミ箔、次世代の電極箔を増強する。

このうち次世代エッチングアルミ箔事業の投資額は3億9,370万元で、通信機器向けなどの製品を強化する。(上海時事)

■ 双塔食品、代替肉原料の新製品を発売＝山東省

21日付の中国紙、中国証券報(B28面)などによると、深セン証券取引所の中小企業ボードに上場する煙台双塔食品(山東省招遠市)は20日、植物由来の代替肉原料のエンドウ豆タンパク事業を本格化する方針を明らかにした。26日には北京市内のホテルで新商品発表会を開く予定。今回は新たに牛肉ボ

ールや牛肉バーガー、ポークバーガーなど向けのエンドウ豆タンパク新製品を市場投入する。

同社はエンドウ豆タンパクで国内最大手。代替肉大手の米ビヨンド・ミートと原料納入契約を結んだほか、双日子会社の双日食料（東京）と提携し、日本向け販売を計画している。（上海時事）

【社会】

■ 浦東空港のコロナ発症者、ULD清掃で感染か＝発着便が激減＝上海市

中国ニュースサイト、新浪新聞が23日伝えたところによると、上海市疾病予防管理センターの孫曉冬・副主任は今年9日と10日に浦東国際空港貨物ターミナルで確認された新型コロナウイルスの感染者について、空輸貨物の積載に使われる機材「ULD」を清掃する際に感染した可能性が高いとの見方を示した。

この2人には発症前の2週間、輸入冷凍食品や海外からの入国者、無症状感染者や発熱者と接触した経歴が確認されていない。ただ、10月30日に北米発の国際貨物便に使用されていたULDを、マスク着用せずに清掃したことがあったという。

ULD内部は湿気が高く、発泡プラスチック材が大量に使われているため、ウイルスの活性を長期間維持するのに適した環境だった。また、2人から採取したウイルスのゲノム配列は、北米地域で流行している株によく似ているという。

浦東空港はこれを踏まえ、貨物ターミナルの消毒を徹底するとともに、今後は職員を対象に定期的なPCR検査を実施する方針を決めた。感染リスクの高い作業に携わる関係者には、未承認だが、緊急時の使用が認められたワクチン候補の接種を呼び掛けている。

浦東空港の貨物ターミナルでは20日以降、職員とその関係者合わせて新たに5人の感染が確認された。同空港の発着便は9日の1,000便から、22日の750便に激減。空港は当面、貨物輸送部門への警戒態勢を強化する一方、旅客輸送部門の影響を最小限に抑える考えを示している。（上海時事）

■ 内モンゴルでもコロナ感染2人＝満州里で全住民PCR検査

23日付の中国紙・北京青年報（6面）によると、内モンゴル自治区政府は22日、満州里市の55歳の夫婦2人が新型コロナウイルスに感染したことを21日に確認したと発表した。夫が持病で入院した際のPCR検査で判明した。これを受け、同市は市内の幼稚園、学校の授業を停止する一方、全住民を対象にしたPCR検査を25日までに完了させる計画だ。

中国では20、21日の2日間に、天津市の5人、上海市の3人と合わせ3地区で10人の感染者を確認。中国疾病予防コントロールセンターの呉尊友首席専門家は「われわれは感染拡大の特徴を既に把握し防疫対策を強化しており、散発的に感染者が出ても、大規模な流行にはつながらない」と強調している。（北京時事）

以上

日刊 華鐘通信（非売品：会員内部刊行物）

発行：華鐘コンサルタントグループ 大阪市中央区道修町二丁目2番11号ベルロード道修町ビル4階

郵便番号：541-0045 電話：+81-6-6232-0775 FAX：+81-6-6232-0776 Email：news.jp@shcsnews.jp

発行責任者：古林恒雄